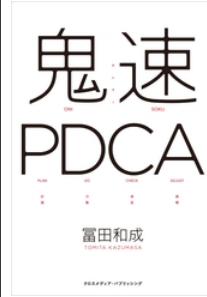




stevanovicigor/iStock/Thinkstock

鬼速P D C A



著者：富田和成
定価：1,598円
単行本：272ページ
出版社：クロスメディア・パブリッシング（2016/10/21）
評点（5点満点）
総合 革新性 明瞭性 応用性
4.0 4.0 4.0 4.0

要約者レビュー

仕事でもプライベートでも掲げた目標を次々と達成し、人の10倍の速さで成長する方法があるなら、あなたはその内容を知りたいだろうか。もしそうならば、迷わず本書を手に取っていただくことをお薦めする。

「本物のP D C A」を伝承することに名乗りを挙げたのは、フィンテック企業として世界一、時価総額100兆円超えをめざす株式会社ZUUの社長、富田和成氏だ。このとてつもなく巨大な夢を現実にするために、著者が最も重視しているのが、タイトルにもある「鬼速P D C A」である。スピードが求められる時代において、業界や職種を問わず応用できるフレームワークとして、鬼速P D C Aを正しく回す力は、必要不可欠な能力になると著者は断言している。

本書の最大の魅力は、読み終えた後すぐに鬼速P D C Aが活用できることを前提に構成されている点だ。P・D・C・Aそれぞれの説明に始まり、仕事の現場やプライベートで取り組みやすい事例を豊富に盛り込むことによって、本書で得た学びを行動に移すハードルを限りなく下げている。また、著者自身が鬼速P D C Aを実践していく中で愛用しているツールも惜しみなく提供されている。さらに、初級編・応用編という段階別の解説は、体系的な学びを実現してくれるため、実用書として非常に重宝できる1冊だ。

より高みをめざしたいのなら、人の10倍の速さで

善が次々と加えられて成長していく。成長とは、その回す速度、

綿密な計画や改善を何度も重ね

たことによる精度の向上を意味

する。なお、一般的に「改善」

と呼ばれる4つ目のフェーズを

本書では、より実態に近い「調

整」と表現する。

P D C Aは一つだけ回るもの

ではない。縦にも横にも枝葉を

広げるものだ。一例として、営

業職での年収U Pという大きな

目標を掲げたとしよう。年収U

Pに向けた大きなP D C Aの下

には必要売上や契約数という、ま

より小さなP D C Aがあり、ま

たその下にはアポイント獲得数

の増加という、さらに小さなP

D C Aがある。また、アポイン

ト獲得数の増加のために顧客

リストの獲得や交渉力の強化が

必要といった具合に、枝葉は無

限に広がる可能性がある。この

ように、小さなものから大きな

ものまで、P D C Aサイクルを

いかに効率良く、速く回せるか

が目標達成の成否を分ける。

P D C Aと自信の関係
P D C Aサイクルを回すのをためらう人は少なくない。その主な原因は、P D C Aを継続できるかが不安だからだという。しかし、P D C Aを回す能力を高めることにより、明確な根拠を伴う自信を培うこと

ができる。

一つのP D C Aの背後には多くのP D C Aが存在し、その全てが目標達成への方法論であり、行動指標である。それらに

成長すればいい。鬼速P D C Aは、それを実現可能だと感じさせてくれる最強ツールであることは間違いない。(二村 英仁)

■ 本書の要点

- 鬼速P D C Aは完了という概念を持たず、常に成長し続けるものであり、前進するためのフレームワークでもある。
- P D C Aを回すうえで、計画の段階で失敗してしまう人は5割にも及ぶ。この大事なステージを突破するカギは因数分解能力を高めることだ。
- 実行のD Oには完結型と継続型の2種類があり、継続型のD Oを達成するには、ルーチンチェックシートを活用するとよい。

要約本文 P D C Aの本質 前進するためのフレーム ワークとしてのP D C A

本書で取り上げるP D C Aは世間一般がイメージするものではない。個別のスキルの習得を加速させるためのベースであり、前進するためのフレーム

ワークである。従って、この技術を体得すれば、個人のスキルアップやチームマネジメントなど、あらゆる目標達成の強力な武器となってくれる。

まずはP D C Aを正しく理解することが必須だ。本物のP D C Aには完了という概念は存在せず、計画、実行、検証、調整というサイクルを回す過程で改

そして、その目標は達成可能なのだと思えることも、因数分解がもたらす恩恵だ。例えば、現状とゴールのギャップがあり過ぎて意気消沈してしまうような目標でも、一つ一つの課題を解決するためにやるべきことがわかり、達成可能だと信じることができるれば、より積極的になれるはずだ。

大数分解の力を最大限活用するには

かかる。中でも重要なのが、因数分解は最低でも5段階はする必要があるという点だ。5段階というのは、鬼速P D C Aを数多く回してきた著者の経験から導き出された基準であり、そこまで深掘りすると、解決策もスムーズに実行に移せるほど具体的になることが多いという。

もう一つのポイントは、要因を見つけるには「なぜ?」と問い合わせること、解決策を見つけるには「どうやって?」と問う

計 画を確実に実行するため

目標を達成するための計画さえ立てれば行動に移せると考える人は多い。だが、現実には計画倒れしてしまう確率が高い。



Julia_Sudnitskaya/iStock/Thinkstock

継続型DOを達成に導く ルーチンチェックシート

**継続型DOを達成に導く
ルーチンチェックシート**

数分解は最低でも5段階はする
必要があるという点だ。5段階
というのは、鬼速P D C Aを数
多く回してきた著者の経験から
導き出された基準であり、そこ
がある。中でも重要なのが、因

を習得することが商品を元々
という目的を達成するための一
つの解決策となる。

このように、5段階まで掘り
下げることで、次に取るべき行
動がかなり明確になるといえ
る。

A photograph of a spiral-bound notebook. The title "To Do List" is written in cursive at the top of the page. A blue pencil lies diagonally across the page. The notebook has a blue cover visible at the bottom.

立てた計画は実行に移してこそ価値がある。ここで意識すべき重要な点は、その計画が実行可能なレベルにまで細分化されているかということである。

実行可能なレベルかどうか判断する基準は、その計画が迷うことなくいきますぐ取りかかれるか否かだといってよい。本書では、DOをさらに具体的なタスクに分解し、「TODO化」と呼んでいる。TODO化により実

こうしてできたTODOについては、予定通り進んでいるか毎日達成状況を確認する。予定より遅れている場合はペースを上げる、といった微調整を重ねていくことで、実行のスピードをさらに加速させることができる。

それぞれが自分のTODOを正確に把握するツールとしても活用できるだろう。

ルに落とし込める。これは個人だけでなく、チームのメンバー

て、どれだけ、いくらで」を表す6W3Hに当てはめていくことで、迷いなく実行できるレベ

なお、TODO化をする際は、掲げた計画を「誰が、誰に、いつ、どこで、何を、なぜ、どうやつ

行を邪魔する言い訳の余地をなくし、やらざるを得ない状況を作り出せることが最大のメリツトである。

その名の通り一回の実行で完結するDOであり、英語学習を例とした場合「参考書を買う」といったことが当てはまる。一方

で、「1日30分英語の勉強をする」というのは継続型DOになり、長い目で見て管理していく必要がある。

中でも、継続型DOの達成に役に立つツールが「ルーチンチェックシート」だ。このシートの目的は、行動を定着化させることであり、達成したい目標を書いたら自己評価の点数を毎日つけていけばよい。

1日30分の勉強をしなかつたことで、シート上に0点がずらずらと並んで行く光景を想像してみてほしい。さすがに危機感を抱き、あらゆる知恵を絞って時間を捻出し、勉強し始めるのではないだろうか。

またルーチンチェックシートは、「日々笑顔で過ごす」、「感謝する気持ちを持つ」といつた、数値化の難しい目標に対しても行動の意識付けを促す最も

のツールである。目標達成のために活用しない手はない。

自己投資のための時間をつくるには

緊急度が低くても重要なことに取り組む時間を捻出するためには、戦術が必要だ。

TODOLリストの中から、重要なだと位置づけられる項目を、

緊急・非緊急の2つに分けるとする。緊急なリストの例でいうと、仕事では明日のプレゼン準備かもしれないし、プライベートでは誕生日パーティーへの参加かもしれない。一方、ニュースチェックや英会話の勉強といふのは、重要であっても今すぐやらなければならぬほどの緊急性はないことが多い。従つて、緊急度の高いDOがあればあるほど、非緊急なDOは後回しになってしまう。しかし、こ

れらは将来への投資であり、自身の成長にとつて必要なことである。

そこで、非緊急だが重要なDOについて、ルーチンチェック

シートで進捗状況を可視化したり、仕組み化して生活の中に組み込んだりするのも良案である。英会話の勉強を例に挙げる

なら、英語が母国語のルームメイトを見つけ一緒に住めば、普段の暮らしの中で自然と英会話レッスンの時間を設けられるだろう。

緊急度の高いTODOLについてでは他人に頼めないか、相手と調整して省けないかを検討していく。同時に、将来大きなリターンが期待できるTODOLへの時間も、工夫を凝らして作り出していくことが大切だ。

については本書を熟読していたときたい。きっとあなたも「鬼速P D C A」を実践に移すことによって、圧倒的な成長を手にできるだろう。

一読の薦め・P D C Aサイクルの速度と精度を高めるには、失敗要因の8割をも占める計画・行動ステージを突破することが必要となる。本要約では計画・行動ステージのポイントの一部をメインに取り上げたが、検証・調整ステージのポイントについても本書を熟読していただきたいたい。きつとあなたも「鬼速P D C A」を実践に移すことによって、圧倒的な成長を手にできるだろう。

著者情報…

冨田 和成（とみた かずまさ）

株式会社ZUU 代表取締役
社長兼CEO

神奈川県出身。一橋大学卒。大学在学中にIT分野にて起業。卒業後、野村證券にて数々の営業記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後、シンガポールでのビジネススクール留学を経て、タイにてASEAN地域の経営戦略を担当。2013年、「世界中の誰もが全力で夢に挑戦できる世界を創る」ことをミッションとして株式会社ZUUを設立。FinTech企業の一角として、月間250万人を集め金融メディア「ZUU online」や、主要なピッチコンテストでも受賞歴のある投資判断ツール「ZUU Signals」で注目を集める。これまでにシリコンバレーのベンチャーキャピタルを含む、総額5・5億円の資金調達を行う。

過去にGoogle & Facebookを受賞した世界で最も革新的なテクノロジーベンチャーアワード『Red Herring Asia Top 100 Winners』受賞。最近は金融機関のFinTech推進コンサルティングやデジタルマーケティング支援などを行い、リテール金融のIT化を推進している。著書に『大富豪が実践しているお金の哲学』(クロスメディア・パブリッシング)がある。

ZUU online: <https://zuuonline.com>

Copyright © 2017 Flier Inc. All Rights Reserved.

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は株式会社フライヤーに帰属し、事前に株式会社フライヤーへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。